

ふるさとを
元気に!

げんき広場

GENKI HIROBA

NO.
83
令和5年2月発行

contents

P1 ふるさとキャリア教育

P2 遠隔授業

P3 休日の中学校部活動の地域移行・地域未来塾

P4 相談窓口

諫早市立小長井中学校

～地域住民と協力し特産品販売～



「ふるさと小長井を盛り上げよう」をテーマに、地域の方と協働して小長井の特産品を販売する「ときめき小長井市(こなががいいち)」は大盛況でした。来年度以降も開催する予定です。

大村市立玖島中学校

～模擬株式会社設立。商品開発から販売まで～



株式会社5社を設立し、「大村絶景カレンダー」や「規格外みかん」を使った商品などを開発し販売しました。この体験は下級生につないでいきます。

ふるさとに新たな魅力を!県内9中学校の挑戦!!

諫早市立小野中学校

～小野の魅力を自分の足で調査・発信～



「地域に愛され 共に育つ 小野中学校」が合言葉。小野の魅力を知り、考え、発信しています。私たちの活動を、後輩たちや、地域の未来へとつなげていきたいです。

～ふるさとの新たな魅力を創出するキャリア教育実践事業～

ふるさとへの愛着と誇りを育み、ふるさとの未来を担う実践力を育むため、県内9つの中学校が、ふるさとの魅力創出や課題解決を目指した学習活動に地域ぐるみで取り組んでいます。中学生による、このような取組は、地域の人たちに笑顔や元気をもたらし、地域の新たな魅力となっています。



長崎市立外海中学校

～会社設立し外海の魅力発信～

茶園カンパニー「外海茶屋」を設立。新茶の試飲会開催、魅力が伝わる商品開発、広報活動等を通して、外海の魅力を再確認しました。

長与町立長与中学校

～道路問題について町に改善案提出～



住みやすいまちにするために、道路の問題に着目。行政相談員に相談し、町に改善案を提出するなど、地域課題の解決に貢献しました。

新上五島町立上五島中学校

～ふるさとの課題を地域住民と共有～

ふるさとの課題を8つに整理し地域の方と意見交換をしました。「ふるさと新上五島町」の発展のため、住みよい活気ある町づくりに貢献していきます。



平戸市立大島中学校

～PR動画を作成し、魅力をweb発信～

ふるさとの山・大島をPRするためにパンフレットや動画を作成。市内各所で配付し、Web上でも公開するなど、ふるさとの魅力を県外にも広く発信しています。



諫早市立喜々津中学校

～地元企業と連携し教育プログラム開発～

地元で活躍する事業者や商工会青年部の皆さんの温かな協力を得て、地域を巻き込んだふるさとの新たな魅力を創出する教育実践プログラムをつくっています。



壱岐市立勝本中学校

～漂着ゴミを清掃・分析し、改善策発信～

漂着ゴミの掃除や分析を行ったり、県外中学校と意見交換を行ったりしました。また、紙芝居などを作成し、現状や改善策について地域に向けて発信しました。



ICTで“つなぐ”授業 “つながる”高校生 ～高校生の学習ニーズに対応するため、「学校の枠」を超える～



多くの離島や半島がある長崎県では、1人1台パソコンやインターネットなどのICTを活用して、離島や小規模の高校をはじめとした県立高校同士を結んだ遠隔授業や生徒交流を行い、生徒が自分のニーズに応じて多様な学びを選択できる環境づくりに力を入れています。ここでは、今年度進めている取組を紹介します。

遠隔授業のメリット

離島や小規模の高校においても、

- 生徒一人ひとりの興味・関心に合わせた授業を行うことができる。
- 多様な意見や考えにふれ、学びを深めることができる。
- 地域の人々をはじめとした多くの人々と協働し、深い学びを実現できる。
- 生徒の多様な進路希望に対応できる。

など

地理歴史の授業・探究活動を“つなぐ”^(※1)

宇久高校・奈留高校・北松西高校・壱岐高校



地理や歴史の授業を遠隔により合同で行っています。他校の生徒ともグループを組んで学習します。探究活動では、地域の強みを生かした特産品の開発など、地域に密着した課題に取り組み、合同発表会などを行っています。



生徒会活動・部活動を“つなぐ”^(※2)

大崎高校・西彼杵高校／国見高校・島原翔南高校



部活動では、対面での合同練習に加えてICTを活用したオンラインでの合同練習を行い、技術の向上とモチベーションアップにつながりました！秋にはそれぞれの学校の文化祭で合同演奏を行うなど、交流を深めています。

韓国語で“つなぐ”^(※2)

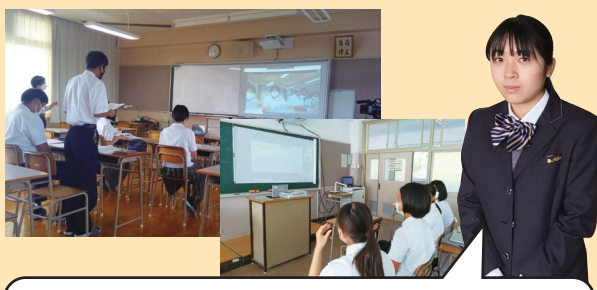
長崎明誠高校・平戸高校・大村城南高校



夏休みに対面とオンラインによる計10時間の韓国語講座を行いました。オンラインでの発音練習や課題提出・添削に活用しました。

地域課題を“つなぐ”^(※2)

口加高校・諫早東高校・島原農業高校



SDGsや防災といった地域の課題など、共通するテーマについてオンラインで意見交換したことで、学びの幅が広がりました。

専門学校と“つなぐ”^(※2)

上五島高校・島原翔南高校・佐世保東翔高校



専門学校の協力を得て、公務員講座を遠隔で行いました。「対面での講座と同じくらい集中できた」といった、効果を実感できる講座となりました。

※1 文部科学省の指定を受けた「地域社会に根ざした高等学校の学校間連携・協働ネットワーク構築事業」。令和3～5年度の3か年で島と島を結ぶ遠隔合同授業や、地域と協働する探究活動に取り組んでいます。
 ※2 「学校間連携による学びのイノベーション創出事業」。「遠隔授業」「進路指導」「探究活動」といったいくつかの連携の柱を立て、それぞれ2～4校の指定校間において、1人1台パソコンをはじめとしたICTを活用した協働体制を構築し、外部機関の協力も得て、学校の枠を超えた学びの充実を図っています。



長崎県コアハイスクール
ネットワーク構想サイト
<https://core-hs.news.ed.jp>



お問い合わせ
長崎県教育庁高校教育課ICT教育推進室
TEL:095-894-3359(直通)

休日の中学校部活動の地域への移行について

少子化による部員減少で、これまでのように学校単位で部活動を維持することが難しくなっています。学校と地域が協力し、将来にわたって長崎県の子どもたちがスポーツや文化芸術等に親しむ機会を確保することが大切です。ここでは、前号に引き続き、新たな情報をお知らせします。

運動部活動について



休日の部活動は、令和5年度から地域の実情に応じて、段階的に地域へ移行され「地域スポーツ団体」の地域クラブ活動となります。平日は、現在の「学校の部活動」としての活動となります。

令和5年度から、県中総体、県新人大会に地域スポーツ団体（クラブチーム等）が参加できるようになります。



★地域移行の全体像

	R4	R5	R6	R7
部活動（平日）	→			
部活動（休日）	→			
地域クラブ活動（休日）	→			



県中総体には

学校部活動チーム

か

地域スポーツ団体
(クラブチーム等)

からの参加となります。

※両方から参加することはできません。

◎「学校部活動チーム」は、これまで同様、各郡市町中総体で代表を決定します。

◎「地域スポーツ団体」は、各競技団体主催による予選会で代表を決定します。

★詳しくは長崎県中学校体育連盟ホームページ

(<https://www.nagasaki-chutairen.jp>)にてご確認ください。



お問い合わせ
長崎県教育庁体育保健課
TEL:095-894-3393 (直通)

文化部活動について

いつから?

文化部においても休日の部活動を地域の実情に合わせて、地域へ移行する予定です。

長崎県は、離島・半島地域が多いため、他の地域と比べて時間を要することが見込まれますが、準備が整った市町から随時進めていきたいと考えています。

大会はどうなる?

文化部活動の地域移行を機に、大会を主催する各団体が、大会の参加規定の見直しを検討しています。



お問い合わせ
長崎県教育庁学芸文化課
TEL:095-894-3385 (直通)

学力向上も地域総がかりで ~放課後等の学習支援「地域未来塾」~

希望する中学生等を対象に、大学生や教職員OB、地域住民などの協力を得て、放課後や休業日等に学校や公民館を活用して学習支援を行い、生徒の学びや育ちを地域全体で支える取組「地域未来塾」が県内で広がっています。この新しい取組は生徒の学習面だけでなく、生徒と地域の方々との交流や地域の活性化にもつながる、「学校を核とした地域づくり」の活動の一つです。



島原市立三会中学校



大村市立玖島中学校



佐世保市立小佐々中学校

学校の授業でわからないまま進んでいたところがわかるようになり、未来塾で習ったところがテストに出題され解けたときはすごくうれしかったです。



利用者(生徒)

未来塾を通して地域の子どもたちに接する機会が増えてうれしい。自分自身の学びにもなり充実した時間になっています。



協力者(地域住民)

教員を目指しています。未来塾での経験は、自分のキャリア形成に役立っています。



協力者(学生)

詳しく知りたいときはどうすればいいの?

お問い合わせはこちら⇒長崎県教育庁生涯学習課社会教育班 TEL 095-894-3363 (直通)





ひとりで悩まないで



～子ども・若者・保護者のための相談窓口のご案内～

いじめや不登校、人間関係などをはじめとする、さまざまな悩みや不安は、一人で抱えているととてもつらいものです。ここでは、長崎県教育委員会の相談窓口を紹介し、秘密はすべて守られますので、安心して相談してください。

24時間子供SOSダイヤル (親子ホットライン)について紹介するけんね。

●子どもも大人も相談してよかよ。24時間いつでも相談してよかよ。
電話: 0120-0-78310

●メールでも相談できるとよ。メールアドレス:
soudan@news.ed.jp



スクールネット@伝えんば長崎 について紹介するけんね。

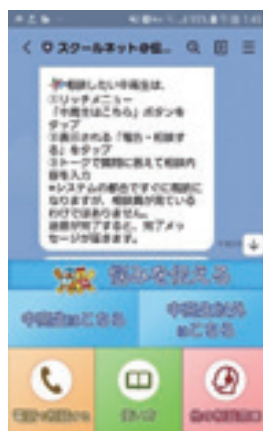
●中・高生対象のSNS (LINE) 相談窓口だよ。

●24時間受付。どんな相談でも大丈夫。

●友人や知り合いからの相談もOKだよ。

●「友だち登録」としてけば安心だよ。

●WEBからも相談できるとよ。



LINE QRコード▶



わたしたちの名前は「ここぽん」。長崎っ子の心を見つめる教育週間のマスコットキャラクターだよ。

佐世保西高校の美術部がつくってくれたとばい。学校・家庭・地域のさまざまな活動の中で活用してくれんね!

画像のダウンロードやお問い合わせはこちらから



長崎県教育庁児童生徒支援課
TEL (095) 894-3339 (直通)



「ひとりじゃなかとよ」



「がまんせんでよかとよ」



「みんなできささえるとよ」

休刊のお知らせ

今後は電子媒体にてお知らせします

長崎県教育だよりながさき「げんき広場」は、1996年(平成8年)の創刊以来、紙面にてさまざまな教育情報を保護者の皆様にお知らせしてきました。近年、SNSが普及したことや1人1台パソコンの環境が整ったことから、紙面にてのお知らせは休刊し、今後は、ホームページや1人1台パソコン、公式SNS等を通じて、最新の情報をお届けしていきます。

長崎県教育委員会
ホームページ

<https://www.pref.nagasaki.jp/department/edu/index.html>



長崎県教育委員会
公式Instagram

https://www.instagram.com/nagasaki_school



長崎県教育委員会
公式Facebook

https://www.facebook.com/nagasaki_ken.edu



長崎県教育委員会
公式体育保健課Twitter
(@ngs_taiho)

https://twitter.com/ngs_taiho



ほかにも、図書館や文化財などさまざまな情報を発信しています。詳しくはこちらをご覧ください。



お問い合わせ
長崎県教育庁総務課 TEL: 095-894-3314 (直通)